

西部支部ニュース（号外）

2009.10.10

🌱🌱 プルタブ・アルミ缶で車いすを！アルミ資源回収運動のとりくみ 🌱🌱

西部支部では、自主福祉運動のとして 2004 年より環境問題をテーマとしたとりくみを行っています。その一環として大阪にある環公害防止連絡協議会が行っている「プルタブ・アルミ缶で車いすを」の活動に参加しました。家庭や職場で不要になったアルミ缶とプルタブを回収し、環公害防止連絡協議会に送ることにより車椅子と交換することができます。車いす 1 台の交換はプルタブ 160 万個（アルミ資源 800 kg）になります。



この度、目標の 800 kg に到達し、車椅子 1 台と交換することができました。環公害防止連絡協議会に送ったアルミの重量ですが、送ったアルミの総重量から運賃分が差し引かれますので、実質重量は約半分程度になってしまいます。従って、運賃を含める総重量は、目標重量の倍に当たる約 1,600 kg を送った計算になります。

このように、多くの仲間の皆様に持ち寄って頂いたアルミ缶やプルタブによって交換できた車椅子は、去る 9 月 24 日（木）に米子市社会福祉協議会に寄贈しました。

当日は、西部支部から八幡支部長、赤井事務局長、湯川事務局次長が出向き、米子市社会福祉協議会の後藤巖会長に手渡しました。この模様は、地元の中海ケーブルテレビの夕方のニュースで放送されました。

支部としては、まだ 1 台しか送れていませんが、環境問題と地域福祉の両面から、2 台、3 台と送れる様に今後も継続して取り組みます。



米子市社会福祉協議会へ贈呈しました

（写真左から労福協西部支部 湯川事務局次長 赤井事務局長 八幡支部長 後藤会長と協議会の皆様）